

2008 年度

<p>科目名</p> <p>ワークショップ論</p>	<p>対象学科・学年 人間人社1回生</p>	<p>担当者</p> <p>中村 英一郎 村尾 敏彦</p>
<p>授業テーマ</p> <p>実際に自分の身体と心を使って、楽しくワークショップの手法を学びながら、自分と社会についての新たな向き合い方を探る</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>人権をはじめ人生や世の中の様々な問題について必ず『正解』があるわけではないでしょう。また、教え込まれただけの正しい答えは、本当の意味で自分のものになっていないのかもしれないかもしれません。そのような中でこのワークショップ論では①体験する（参加者は相互に学び合う）、②振り返る（自分の気持ちを言語化し、相手の言葉を傾聴する）、③一般化する（体験を分析し概念化する）、④応用する（それを経験知・経験則まで高め、次への行動を考える）を通して、人間の成長につなげます。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業毎に『振り返りシート』に記入してもらう。学期全体の自分の資料をもとに自己評価のレポートを提出してもらい、教員はそれを基に評価します。</p>		
<p>テキスト</p> <p>特にテキストは使用しない</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要があれば、その都度授業中に指示する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. とにかく体験してみよう（自己紹介ゲーム・話し合うルール作り・聞くトレーニング） 2. ワークショップとは何か？ 3. レスponsゲーム（ひとからひとへ波のように伝わって...） 4. Back to Back（絵を描くワーク） 5. 粘土のワーク（ふたりで作ったら...） 6. カクテルパーティ：気になることのジレンマ① 7. ジレンマの解決方法をさぐる②(ブレーストーミングやダイヤモンドランキングを使って) 8. 差別・偏見について考える①（参加者はどんな人・三段論法の落とし穴） 9. 差別・偏見について考える②（多数派少数派・結婚の条件） 10. 差別・偏見について考える③（目隠し散歩と心の写真・青い目茶色い目 [ビデオ]） 11. 貿易ゲーム① 12. 貿易ゲーム②（豊かさのランキング） 13. 貿易ゲーム③（まとめと発表） 14. 宇宙船地球号の未来 15. 授業のまとめとディスカッション <p>教室で椅子に座って講義に耳を傾ける形式の授業ではありません。心身を活動して体験する形式の授業なので、人数が多すぎると授業として成立しません。そのため人数制限をします。授業履修できるのは、60名までです。</p>		